

令和5年度

宇都宮市

学習内容定着度調査
学習と生活についてのアンケート

実施結果報告書

令和6年3月

宇都宮市教育委員会

令和5年度

宇都宮市

学習内容定着度調査
学習と生活についてのアンケート

実施結果報告書

<目次>

はじめに	2
1. 調査の概要	3
(1) 学習内容定着度調査	3
(2) 学習と生活についてのアンケート	5
[学習内容定着度調査 実施結果報告]	
2. 「学習内容定着度調査」結果の状況	8
(1) 各学年の結果概要	8
(2) 小学校第6学年結果分析	10
(3) 中学校第3学年結果分析	18
(4) 指導の工夫・改善	28
[学習と生活についてのアンケート 実施結果報告]	
3. 「学習と生活についてのアンケート」結果の状況	40
(1) 設問別肯定的回答率一覧	40
(2) 設問のカテゴリ一別に見られる傾向	46
[正答率とアンケート結果の一体的分析 結果報告]	
4. 正答率と相関のある指導の分析	66
(1) 小学校第6学年結果分析	66
(2) 中学校第3学年結果分析	69
(3) 考察及び指導の工夫・改善策	72
5. 正答率と相関のある学校の取組の分析	74
(1) 分析方法	74
(2) 分析結果	75
(3) 考察及び正答率が上昇傾向にある学校の取組例	77
6. 国, 県, 市の学力調査における本市児童生徒の学力の状況	79

はじめに

「学習内容定着度調査」は、本市の児童生徒の学習内容の定着度を的確に把握し、学校における学習指導の工夫・改善を図るため、平成15年度に開始し、今年度で21年目となる。

開始から平成19年度までの5年間においては、小3～小6の国語と算数、中1～中3の国語、数学、英語について、基礎的・基本的な学習内容を中心に、原則として同一問題による調査を実施し、当該年度における領域別、観点別、設問別の正答率による分析と前年度の正答率との比較による分析を行うことで学習内容の定着状況を明らかにし、指導の工夫・改善を図ってきた。

平成20～23年度の4年間においては、児童生徒に調査問題を返却することで調査問題を使った見直しや復習を行うことができるようにし、児童生徒一人一人の学習内容の一層の定着を図るため、年度により調査問題を変更するとともに前年度の正答率との比較を行わないこととして調査を実施してきた。

平成24・25年度においては、学習指導要領の改訂や小中一貫教育の全市実施を踏まえて、思考力・判断力・表現力等の定着状況を把握するための活用問題や、小5～中3の5学年に社会と理科を加えて実施したことで、総合的な学力について多面的、多角的に把握できるようにした。

平成26年度からは、栃木県教育委員会による学力調査が実施されたことを踏まえて対象学年を小6と中3の2学年に精選し、それぞれ出題範囲を広げて調査を実施することで、小・中学校のまとめとしての学力の状況を把握できるようにした。

今後とも、基礎・活用別、領域別、観点別、設問別の正答率による分析をもとに指導改善の方策を見だし、市や各学校の実態に応じた指導の一層の充実を図れるよう努める。

「学習と生活についてのアンケート」については、教科学力の背景にある学習や生活の状況についての実態を把握するため、平成18年度に開始し、今年度で18年目となる。

小1～中3の児童生徒について、学習に対する意欲や学校や家庭での取組、生活状況等についての調査を実施し、学校教育推進計画との関連などの視点から、学年間、年度間の肯定的回答の割合の比較をもとにした分析を行ってきた。また、本調査結果と「学習内容定着度調査」の結果を併せて分析することで、学習に対する意識や行動と学習内容の定着状況との関連を明らかにし、学力向上に向けた指導の工夫・改善を図ってきた。

今後とも、肯定的回答の割合による分析等を行いながら児童生徒の発達の段階による特徴を明らかにするとともに、「学習内容定着度調査」の正答率等との相関や各学校の経年的な状況についての分析を通して学力向上を図るための取組を見だし、小・中学校が連携した児童生徒の育成に向けて活用できるよう努める。